

興道会だより

米沢仏教興道会 〒992-0042 米沢市塩井町塩野1476-1 興道北部保育園内 TEL0238-40-0044 FAX0238-37-8399 発行責任者／熊野龍雄



報恩供養会の様子

会長挨拶



米沢仏教興道会 会長
熊野龍雄

今年の新年顔合わせの折りの法話は山形市 楊柳庵住職 木村尚徳老師をお願い致しました。法話の中に、次の話がありました。

子ども

批判ばかりされた子どもは

非難することをおぼえる

殴られて大きくなった子どもは

力にたよることをおぼえる

笑いの言わされた子どもは

ものに言わずにいることをおぼえる

皮肉にさらされた子どもは

鈍い良心のもちぬしとなる

しかし

激励をうけた子どもは

自信をおぼえる

寛容にであった子どもは

忍耐をおぼえる

賞賛をうけた子どもは

評価するをおぼえる

フェアプレーを経験した子どもは

公正をおぼえる

友情を知る子どもは

親切をおぼえる

安心を経験した子どもは

信頼をおぼえる

可愛がられ抱きしめられた子どもは

世界中の愛情を感じるをおぼえる

大変有り難い法話でありました。

今年一年、心に余裕を持ち、

「むりしてでも にっこり」と

で今日を精進してまいります。

合掌

平成28年度 事業報告

- 正会員会総会** 於：招湯苑
■とき／平成28年4月7日(木)
 - 報恩供養会** 於：本部研修室
■とき／平成28年4月20日(木)
 - 第92回花まつり** 於：米沢市民文化会館
■とき／平成28年6月11日(土)
 - 熊本地震義援金寄付** 於：山形新聞社
■とき／平成28年7月8日(金)
 - 創立130周年記念事業 仏教講演会 第1回** ... 於：伝国の社
■とき／平成28年7月17日(日)
 - 戦没者慰霊祭** 於：本部研修室
■とき／平成28年10月11日(火)
 - 創立130周年記念事業 仏教講演会 第2回** 於：グランドホクヨウ
■とき／平成28年11月27日(日)
 - 歳末助け合い募金(ののさま募金)** 於：本部研修室
■とき／平成28年12月12日(月)
 - 正会員会・新年会** 於：志ん柳
■とき／平成29年1月27日(金)
 - 創立130周年記念祝賀会** ... 於：東京第一ホテル米沢
■とき／平成29年2月16日(木)
 - 機関誌「興道会だより」第15号発刊**
■とき／平成29年3月1日(木)
- ※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。

平成29年度 事業計画(案)

- 4月 **正会員会総会**
 - 4月20日(木) **報恩供養会**
 - 6月10日(土) **第93回 花まつり**
 - 10月 **戦没者慰霊祭**
 - 12月中旬 **歳末助け合い募金(ののさま募金)**
 - 平成30年
1月下旬 **正会員会・新年会**
 - 3月1日 **機関紙「興道会だより」第16号発刊**
- ※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。



米沢仏教興道会 副会長 昌傳庵 今成 幸裕



お正月のテレビで「下町ロケット」というドラマを放送していました。下町の小さな工場が作る精度の高いロケット部品。主人公の社長は、利益を追求する大企業やライバルからの妨害を受けながら、ロケット打ち上げの夢を追い続けるという内容でした。現実も変わりないだろうなあとドラマを見ながら思い起こしたのは、孟子の言葉の中の有名な一節です。

「天の將に大任を是の人に降さんとすや、必ずその心志を苦しめ、その筋骨を勞せしめ、その皮膚を餓えしめ、その身を空乏にし、行いには其の為す所を乱れせしむ。心を動かし性を忍び、其の能わざる所を曾益せしむる所以なり」

天がその人に重要な任務を与えようとする時は、必ずその心や志が挫折するような事をおこし、肉体を疲労させ生活を困窮させ、その人が行おうとする事は何でもうまくいかないように仕向けるものであるという意味です。

天は何故そのようなことをするのでしょうか？ それは、その人があらゆる困難を乗り越えて、できないと思われることもできるようにする、そういう人間に育てる資格があるという事です。世の中を見ても鍛えられた人間であればその任を全うできる資格があるという事です。こうして鍛えられた人間であればその任を全うできる資格があるという事です。世の中を見ても鍛えられた人間であればその任を全うできる資格があるという事です。

やはりこれもテレビドラマの「仁」の話ですが、その中に「神は乗り越えられない試練は与えない」という言葉が出てきました。こちらの出典はおそらく聖書かと思われませんが、どちらにしても元氣付けられる言葉です。

曹洞宗の道元禪師も曰く「玉は琢磨によりて器となる。人は練磨によりて仁となる。」宝石も磨いてこそ光輝く。人間も同じだといふことです。

私などは、いくら磨いてもたいした光は放てないと思いますが、それでも天から与えられた修行の場である「この人生」を、できるだけ誠意をもって生き、死んだときには閻魔大王様の前で少しでもまともな報告ができるようにと思っております。

皆様も夫々与えられた課題と人生があると思いますが、大変な困難に遭ったときにはいろいろな言葉に励まされて頂き前に進んでほしいと思います。時々訪れる忙の中、感じたことを書かせていただきました。



金額 五五、三三四円

合掌

熊本地震被災地への義援金寄付
昨年四月十四日以降、熊本を中心に地震が多発し、多くの尊い命が奪われました。私ども米沢仏教興道会でも、寄付支援することとし、皆様より義援金を募り、去る七月八日、鈴木良知幹事長より山形新聞置賜支社を通じ、被災地へ寄付いたしましたことをご報告いたします。皆様のご協力に深く感謝いたします。また、お亡くなりになられた方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

熊本地震被災地への義援金寄付



金額 一二六、二九〇円

合掌

歳末募金御礼ののさま募金
今年度も歳末助け合い募金にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。平成二十八年十二月十二日、興道会本部にてののさま募金の受付が行われ、各保育園・老人ホームの利用者様、職員の皆様、そして、会員御寺院様より浄財をお預かりいたしました。同年十二月二十一日、仏教興道会 熊野会長より、米沢市社会福祉協議会を通じ「歳末助け合い募金」として寄付させていただきました事をご報告いたします。皆様よりお預かりしました善意の結集は、米沢市内の福祉施設、団体や支援を必要とする世帯へ届けられます。ご協力いただきましたこと重ねて御礼申し上げます。

歳末募金御礼ののさま募金



金額 一三一、五〇七円

合掌

仏教興道青年会 歳末助け合い募金運動
米沢仏教興道青年会では、年末の活動として歳末助け合い募金運動を行っております。平成二十八年十二月三日、四日の二日間におたり、イオン米沢店北口、南口にて沢山の方よりあたたかい浄財をお預かりいたしました。こちらも、同年十二月二十一日、仏教興道青年会 聖山会長より、米沢市社会福祉協議会を通じ「歳末助け合い募金」として寄付させていただきました事をご報告いたします。

仏教興道青年会 歳末助け合い募金運動

米沢仏教興道会 創立130周年記念事業

明治20年に発足した米沢仏教興道会は、今年創立130周年を迎えました。記念事業実行委員を中心に、仏教講演会の開催、記念誌の発行など行いました。

仏教講演会 第1回 平成28年7月17日(日)

講師：臨済宗円覚寺派 管長 横田 南嶺 老師

「ころびても花の中」



記念法要の様子



仏教講演会 第2回 平成28年11月27日(日)

講師：曹洞宗愛知専門尼僧堂 堂長 青山 俊董 老師

「たった一度の人生をどう生きるか」
撰びぬいてゆく人生と授かりとしていただいてゆく人生と



記念祝賀会 平成29年2月16日(休)



記念誌の発行

